

出席停止感染症一覧表 (ひじり学園)

下記の感染症にかかられた場合は出席停止です。完治後、登園時に様式1又は2の届け出用紙を提出していただく必要があります

| 第一種 | エボラ出血熱 クリミア コンゴ出血熱 ベスト マールブルグ病 ラッサ熱 急性灰白髄炎 ジフテリア その他 | | | | 原則入院治療するまで出席停止 | | 届け出様式 | |
|-----|--|---|------------------------|---|---|---|-------------------------|---|
| | | | | | | | 様式1 | |
| 第二種 | 病名 | 主な症状 | 感染経路 | 潜伏期 | 感染期間 | 出席停止期間 | 届け出様式 | 備考 |
| | インフルエンザ | 高熱(39～40℃) 関節や筋肉の痛み 全身倦怠感 咳・鼻水・のどの痛み | 接触 飛沫 | 1～4日 | 発症後3～4日 | 発症後5日を経過し かつ解熱してから 3日を経過するまで | 様式2 | 肺炎や脳炎などの合併症に 注意。発熱や意識の様子に 気をつける |
| | 新型コロナウイルス 感染症 | 発熱・咳・鼻水・のどの痛 み・倦怠感・頭痛 味覚障害・嗅覚障害 | 飛沫 接触 エアゾル | 1～7日 | 発症の2日前～ 発症後7日～ 10日間 | 発症後5日間 無症状の場合は 検体採取日から数える | 様式2 | 濃厚接触者特定無し |
| | 百日咳 | コンコンという短く 激しい咳が続く | 飛沫 接触 | 7～10日 | 1～4週 | 特有の咳が消えるまで、ま たは5日間の適正な抗菌 性物質製剤による治療終 了まで | 様式1 | 3歳以下の乳幼児は肺炎を 合併することがある |
| | 麻疹(はしか) | 発熱・鼻汁・目やに・発疹 くしゃみ | 飛沫 接触 | 11～12日 | 発疹が出る前 5日～出た後3・4 日 | 解熱してから3日を経過す るまで | 様式1 | |
| | 結核 | 初期＊無症状 発熱・咳・倦怠感・呼吸症状な ど | 空気 | 6か月～ 2年以内 | 喀痰検査陽性の間 | 3日連続喀痰検査又は、 空腹時の胃液の塗抹検査 が陰性となるまで | 様式1 | |
| | 髄膜炎菌性髄膜炎 | 発熱・頭痛・意識障害 発症 | 飛沫 | 4日以内 | 有効な治療開始後24時間を経過するまで隔離が必要 症状により、医師において感染のおそれがないと認めるまで | | 様式1 | |
| | 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 発熱 耳の前下部の腫れと痛み (押すと痛む) | 飛沫 接触 | 16～18日 | 耳下腺の腫れる前 7日～腫れた後9 日間 | 耳下腺、顎下腺または舌 下腺の腫れが出た後5日 を経過し、かつ全身状態 が良好になるまで | 様式2 | |
| | 風疹(三日はしか) | 38℃前後の発熱 発疹 リンパ節の腫れ | 飛沫 接触 胎内感染 | 16～18日 | 発疹が出る前7日～ 出た後7日間 | 発疹が消えるまで | 様式2 | |
| | 水痘(水ぼうそう) | 発疹→水泡→かさぶた 軽い発疹 | 空気 飛沫 接触 胎内感染 | 14～18日 | 発疹が出る前1日～ すべての発疹がかさ ぶたになるまで | すべての発疹がかさぶた になるまで | 様式2 | |
| | 咽頭結膜熱(プール熱) アデノウイルス | 38℃～40℃の発熱 のどの痛み・目やに 結膜の充血 | 飛沫 接触 | 2～14日 | 発病してから 2～4週間 | 主要症状が消えてから 2日を経過するまで (医師の判断) | 様式2 | 医師の許可があるまでプー ルには入らない |
| 第三種 | コレラ 細菌性赤痢 腸菌感染症(O-157) | 腸チフス パラチフス 腸管出血性大 腸菌感染症 | 医師において伝染の恐れがないと認めるまで静養 | | | 様式1 | | |
| | 流行性角結膜炎 (はやり目) | 目の異物感 充血 まぶたの腫れ 目やに 瞳孔に点状の濁り | 飛沫 接触 | 2～14日 | プール熱同様 | 様式1 | 医師の許可があるまでプー ルには入らない | |
| | 急性出血性結膜炎 (アポ病) | 目の激しい痛み 結膜が赤くなる 異物感・涙が出る | 接触 | 1～3日 | 発症してから 5～7日 | 様式1 | | |
| | ヘルパンギーナ | 高熱(38℃～39℃) 咽頭発赤・のどの奥に 白い小さな水泡疹 | 飛沫 経口 接触 | 3～6日 | 主な症状が 治るまで | 出席停止日数は 症状に応じて 医師が判断 します。 (＊感染の恐れが ないと認めるまで 静養が必要な場合 もあります。) | 様式2 | |
| | 溶連菌感染症 | 発熱(39℃前後)発疹 扁桃発赤・腫痛・咽頭痛 ・いちご舌など | 飛沫 | 2～5日 | 解熱後、一日経過 し、主な症状が消 失するまで | | 様式2 | 抗生剤を正しく 服用しましょう |
| | 異型肺炎 (マイコプラズマ) | 発熱・乾性の激しい咳が続く 咽頭炎 胸部レントゲン陰影 | 飛沫 | 14～21日 | 症状がある時が ピーク | | 様式2 | 高熱後、長い咳に注意 |
| | 伝染性紅斑 (リンゴ病) | 両頬に少し盛り上がった じんましんのような発疹・ 発熱 | 飛沫 | 4～14日 | 症状出現後は 感染力が弱い | | 様式2 | |
| | 手足口病 | 軽い発熱(2～3日) 小さな水泡が口の中や手足 にできる | 飛沫 経口 接触 | 3～6日 | 喉から1～2週間 便から3～4週間 | | 様式2 | 食事困難な場合には 静養しましょう |
| | 伝染性膿痂疹 (とびひ) | からだに水泡ができる →破れて膿が出る・かゆみ | 接触(水泡 の分泌物) | 2～5日 | 水泡から膿の 出る間 | | 様式2 | |
| | 感染性胃腸炎 (流行性嘔吐下痢症) | 吐気・嘔吐・下痢・腹痛・発熱 | 飛沫 経口 接触 | 1～2日 | 主な症状が回復す るまで | | 様式2 | 主な原因はノロ・ロタウイルス 小型球形ウイルス(SRSV) アデノウイルスなど 汚物処理、要注意 |
| | RSウイルス 感染症 | 発熱・咳・鼻水など風邪症状・ 喘鳴 | 接触 飛沫 | 4～6日 | 3～8日 | | 様式2 | 咳、呼吸器症状に注意 |
| | ヒトメタニューモ ウイルス感染症 | 発熱・咳・鼻水など呼吸器症 状 | 接触 飛沫 | 3～5日 | 1～2週間 | | 様式2 | 呼吸器症状に注意 |
| | 伝染性軟属腫 (水いぼ) | 光沢のある粒上の皮疹 中央がおへそのようにくぼん でいる | 接触 | 皮疹の数が増えたり大きく成長している 又は 潰れて浸出液がある場合には相談 | | 様式2 | | |

※上記の表は、学校保健安全法施行規則に基づく一覧表です。参考にしてください。ただし、症状により異なりますので必ず医療機
関にて相談してください。上記以外の感染症で(医師の指導があった場合)届け出が必要なこともあります。受診後は園までご一報お
願い致します。